

情報公開文書

課題名：急性虫垂炎の術前重症度予測因子の検討

研究期間：倫理委員会承認日～2022年3月31日

1. 研究の対象

2012年1月から2018年9月において、当院で単純性虫垂炎と診断され緊急手術を受けた方

2. 研究目的・方法

目的:手術前のCT検査で膿瘍形成(膿がたまる状態)や液体貯留を認めない単純性虫垂炎と診断された症例の中に、前述のような所見を伴う複雑性虫垂炎が含まれていることがあり、治療が難航することがしばしば見受けられます。手術前における急性虫垂炎の重症度診断は依然困難とされており、これを正確に行うことができれば、手術時期などを判断するうえで有力な指針となり得ます。今回、当院において虫垂切除術を行った症例を検討し、複雑性虫垂炎診断の予測因子を明らかにすることを目的としています。

方法:手術中の所見・手術後の病理結果より、単純性と複雑性の2群に分け、手術開始までの時間、年齢、CT検査の所見、虫垂の大きさ、手術前体温・血液検査データに関して検討を行います。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報:年齢、性別、病歴、治療歴、術後合併症等の発生状況、カルテ番号、CT検査画像、血液検査データ等

試料:血液 手術検体

4. 外部への試料・情報の提供

外部への試料・情報の提供はありません。

5. 研究組織

この研究は当院のみで実施されます。

6. 個人情報の取扱い

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者及び検体や情報の提供先である立田協太が責任をもって適切に管理いたします。

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

住所: 浜松市中区富塚町 328 番地 浜松医療センター

電話: 053-453-7111(代表)

消化器外科 医師 立田協太 (研究責任者)